

報道資料

函 博
令和7年（2025年）9月3日

報道機関各位

市立函館博物館
館長 黒田 育生

Innovate MUSEUM事業「ミュージアム「表現・創造」プロジェクト」に係る
報道依頼について

このことについて、このたび文化庁のInnovate MUSEUM事業（国庫補助事業）に採択された標記プロジェクトにおいて、下記のとおりワークショップを行いますので、取材および報道について、よろしくお願ひします。

記

- 1 日 時 令和7年9月7日（日） 午前10時～午後4時30分
- 2 場 所 市立函館博物館集会室（函館市青柳町17番1号）
- 3 主 催 ミュージアム「表現・創造」プロジェクト実行委員会
会長 川嶋 稔夫（公立ほこだて未来大学特命教授）
- 4 趣 旨 博物館を核として地域の多様な主体と連携し、地域における博物館の機能強化の推進を図る取組で、「Part1 創造的なものづくり」「Part2 語り伝える」「Part3 創造的な記録」の三部構成により活動を予定しており、このたびは、Part1におけるワークショップを開催します。（詳細別紙）
- 5 内 容
 - （1）パートリーダー：岡本 誠（公立ほこだて未来大学特命教授）
 - （2）講 師：福田 ^{ひろとし} 大年（札幌市立大学准教授）
 - （3）参加者：市内高校生，大学生，一般市民等予定
 - （4）日 程：（午前）館内見学を含むオリエンテーション
（午後）講師によるグループワーク「クルクルスケッチ」

連絡先：市立函館博物館
担 当：熊谷
電 話：23-5480
F A X：23-0831

【Innovate MUSEUM事業について】

本事業は、文化庁が、改正博物館法の趣旨を体現するため、博物館のデジタルアーカイブ化とその活用や発信等、博物館における業務のDXに効果的に取り組む館の事業への支援や、これからの博物館に新たに求められる社会や地域における様々な課題に対する取り組み等を通じた課題解決への取り組みへの支援をとおして、博物館の機能強化の推進を図ることを目的としています。

【ミュージアム「表現・創造」プロジェクトの概要】

ミュージアム「表現・創造」プロジェクトでは、博物館が利用者にとって受け身の鑑賞の場ではなく、利用者の視点で主体的に表現する場として捉えなおすことで、若者が地域の歴史や文化を主体的に理解し共感できる場をデザインすることができると考え、そこで博物館を活動の基地として、市民と博物館の協働により資料や文化財についての理解を深めるための表現・創造活動を行うことを目的とし、3つのパートにより活動します。(実行委員会方式)

- ・代表者 川嶋 稔夫 (公立はこだて未来大学特命教授)
- ・3つのパート
 - Part 1 創造的なものづくり
 - Part 2 語り伝える
 - Part 3 創造的な記録

【9月7日開催 Part1 ワークショップの内容】

パートリーダー：岡本 誠 (公立はこだて未来大学特命教授)

参加者：市内高校生，大学生，教員，一般市民等 (約20名予定)

午前中：ワークショップ開始にあたっての説明，館内資料等の事前学習

午後：札幌市立大学 福田大年准教授を講師に迎え，グループ毎に「クルクルスケッチ」によるアイデアの展開および取りまとめ



7/13 キックオフイベントの様子